

第7回 富士見市地域公共交通会議会議録

会議の名称		第7回富士見市地域公共交通会議	
開催日時		平成29年11月13日(月)	開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分
開催場所		市長公室	出席者数 委員定数20名中 出席者14名
出席者	委員	大久保勇次委員、島田アサ子委員、清水実委員、酒本孝委員、 白砂栄子委員、三上秀樹委員、真家正人委員、板谷和也委員、 飯塚孝廣委員、川角和嗣委員、浅井義明委員、島田臣己委員、 久米原明彦委員、細田幸雄委員 ※欠席 山崎俊明委員、照井誠委員、鶴岡洋委員、高原昭委員、 平野由紀委員、藤倉英行委員	
	事務局	【事務局職員】 柴崎建設部長、落合建設副部長、近藤交通・管理課長、 森川道路・交通政策担当課長、江口交通・管理課副課長、 堺交通・管理課主任技師	
配布資料		【会議資料】 第7回富士見市地域公共交通会議 次第 第7回富士見市地域公共交通会議 席次表 第7回富士見市地域公共交通会議 出席者名簿 富士見市地域公共交通会議委員名簿 資料1 デマンド交通実証運行の利用状況等について 資料2 デマンド交通に関するアンケート調査について 資料3 今後のスケジュールについて	
公開・非公開		公開（傍聴 4名）	

会 議 事 項

委嘱状及び任命書交付式

1 開会 柴崎建設部長

2 市長あいさつ 富士見市長 星野光弘

3 会長、副会長の選出

会長→富士見市副市長浅井義明、副会長→流通経済大学教授板谷和也

4 議事

(1) デマンド交通実証運行の利用状況等について

会議資料1により事務局から説明。

質疑応答

委 員：利用状況をみていると、人口が多い地域がそのままデマンド交通の利用も多くなっている。この地域別の表は少し分かりにくいので、地図に数値を入れた資料だと分かりやすいと思います。

事務局：今回は途中報告のため、地図は省略しておりますが、実証実験終了後の報告では、地図を用いて表す予定です。

委 員：バスが運行していない地域がどの地域であり、交通弱者がどのような利用をしているのかは、把握しているのか。

事務局：どの方がどこからどこに移動したのか全てデータがございますので、把握しております。

委 員：地域別の登録数や利用状況等を町会長連合会の全体会議でも説明をお願いしたい。

事務局：町会長連合会を所管しております、協働推進課と調整し、対応いたします。

委 員：デマンド交通の利用ルールについても把握していない方がいるため、この点についても全体会議の場で説明してほしい。

委員：事前登録が必要である旨は周知されていると感じるが、予約料金については、把握していない方がいるため、対策が必要と思います。

委員：利用方法や予約料金についての説明を広報等で周知はできないか。

事務局：広報については、発行まで2ヶ月程度の時間がかかるため、別の方法を検討いたします。

委員：デマンド交通を利用するために、タクシー会社に電話をした際、「今、車が無いため配車できない。」と言われたが、「駅ではタクシーが多くいた。」と聞いた。そのようなことがあるのか。

委員：タクシーの営業（配車）については、無線による方法と駅などの施設に常駐している方法の2つの方法があります。今回の場合は、電話をしたタクシー会社でない会社のタクシーが駅の待機スペースで客待ちをしていた可能性が高いと思います。

委員：登録者数が人口の5%の5,000人を超えているので、多いと感じている。登録者数が増加していくのは良いことである。ただし、利用回数についての説明で、1人の方が多く利用している場合があると説明があり、仮に本格運行をされる際には、平等の確保から利用回数の制限についての検討が必要と思われます。先ほども他の委員からご指摘があったように、どの地域の方が多く利用しているかなど、一目でわかる地図が欲しいと思います。参考資料についても、割合が表現されていると良いと思います。補助金額については、私が当初想定していたよりも少ないと感じています。

(2) デマンド交通に関するアンケート調査について

会議資料2により事務局から説明。

質疑応答

委員：実際に利用した人がどこからどこまで利用したのかなど、分かるようになっていますか。他の自治体では、地図上に移動状況が分かるようにしていますが、同様に作成した方が良いと思います。

事務局：利用状況は全てデータ化されていますので、どこからどこまで利用したか分かるようになっております。

会長：デマンド交通を継続した方が良いのか、他の手段がよいのか、何もしない方がよいのかなど、今後の当市の公共交通について、このアンケートが議論の材料になりますので、委員の皆さまから様々な意見を頂戴したいと思います。

事務局：事務局として、問7のデマンド交通の利用料金についての項目の必要性について少し疑問があるため、ご意見をいただければと思います。

- 委員：地域によって利用料金の感覚が違うため、聞いた方が良いと思います。ただし、意見の多かった金額にするのではなく、税金を使い補助していることを踏まえて、慎重な協議が必要と思います。例えば質問項目に、希望金額にコメント欄を追加し、希望金額の理由が「私は300円であれば支払うことができるので300円にしてほしい。」という様に自由記述が出来るようにすれば良いと思います。また、現状の利用料金で良い、若しくは悪いという設問にし、悪い場合は、いくらぐらいが良いのかを記述する方法にするようにしてはいかがでしょうか。自由記述については、集計が大変になりますが、貴重な意見として取り扱っていただければと思います。
- 委員：質問と回答を太字にするなど、紙面を見やすくするために表現の工夫が必要と思います。また、表紙の文章が長いため、簡潔にした方が良いと思います。
- 委員：アンケート用紙に番号を記載し、誰にアンケートを送付するのか分かるようにすれば、問1～4の問は必要なくなると思います。アンケートは、専門分野の方によりますと4ページ程度が良いとされているようですので、少しでも設問を少なく出来る方法として提案します。また、①どこからどこまで移動したのか、主に利用した移動はどこからどこまでなのか、②デマンド交通の利用方法についての項目、③問5で自動車運転免許証の有の場合、次の質問で「返納する予定」の有無を聞き、自動運転免許証の無の場合、次の質問で「返納済み」を聞く。以上の3点についても提案します。
- 会長：アンケートの送付については、アンケートの回答者とデータがリンクするようにした方が良いと思います。
- 事務局：個人が特定されないように、回答者がわからないようにと考えておりましたが、利用登録された方に対して送付する場合、個人情報の取扱い上、問題が生じないか等を確認し、再度検討いたします。
- 委員：個人情報の取扱いは非常に難しいため、検討をお願いします。アンケートの中で、分析が完結できるようにした方が良いのではと考えます。あと、問21のスペースは縮小しても良いと思います。
- 会長：アンケート項目を減らす観点から質問いたしますが、何故、運行データにおいて移動実態が把握できるのに、アンケートにおいても移動内容を聞く必要があるのか教えてください。
- 委員：デマンド交通に不満を持っている人の属性、利用時間帯、移動実態などのクロス集計を行うために必要と考えます。どういう移動をしている人がどんな不満をもっているのかなどのデータがアンケートから取得することができます。
- 委員：現在までに利用者からの苦情があれば、アンケート項目に追加していく必要があるのではと思います。

事務局：「電話が繋がらない。」、「利用料金が今日は高かった。」などの問い合わせがありました。デマンド交通を利用して、利用のしやすさなどをアンケートで聞く考えです。

委員：登録者に対して、登録証明書を発行しないと決めて実証実験を開始しているが、高齢者の方は登録証明証が無いと不安になってしまうようである。タクシー会社の電話番号が記載された登録証明証の発行を望む声も聞いている。

事務局：実証実験においては、証明証の発行はいたしません。今後デマンド交通が本格運行となった場合には、検討が必要であると考えます。

(3) 今後のスケジュールについて

会議資料3により事務局から説明。

質疑応答

会長：アンケートの項目はいつ決定するのか。

事務局：今回いただいた意見を踏まえ、再度アンケートを作成し、委員の皆さまに郵送にてアンケートを送らせていただき、ご了解を得てアンケート項目を決定する考えです。

5 その他

委員：三上委員に質問ですが、デマンド交通の利用が増加している中で、売上が増加していると感じていますが、将来的にデマンド交通が本格運行された際に、例えば補助金額が月200万円以上になれば、利用料金を割引くなどの考えはありますか。

委員：売り上げに関しては、デマンド交通のすべてが増加分という事ではなく、今まで通常のタクシーを利用していただいていた富士見市民の方がデマンド交通に移行しているのがほとんどであり、増加分は少ないのが現状です。また、タクシー料金は国土交通省で決められており、勝手に変更することは出来ないこととなっております。

6 閉会 柴崎建設部長